

# JWFファンド2020 完了プロジェクト概要

## 3. Thapathaliスラムの手洗い器の設置 (ネパール)

- 実施団体: 'We' for Change (#181)
- 費用: 1,170ドル (JWFファンド1,000ドル、団体110ドル、スラム組合60ドル)
- 受益者数: 777人
- 実施地の水問題:  
申請団体の調査によると、対象のThapathaliスラムの衛生環境は不十分で、住民たちはコレラや赤痢といった病気にさらされている。彼らは水と衛生に関する知識と水が不足しているため、手洗いを習慣化できていない。



Thapathaliスラムの様子



手洗い器の設置予定場所

- 主な活動内容: タッチフリーの手洗い器2基の開発と設置、水と衛生に関する啓発活動3回等
- 持続性: 手洗い用の水と石鹼の補充、定期的なメンテナンスといった維持管理はスラム組合が行う。手洗い器の使用後の水は簡易ろ過装置により家庭菜園などに再利用が可能。

これらの活動により、衛生環境が改善され、住民の生活環境向上が期待される

# JWFファンド2020 完了プロジェクト概要

## 3. Thapathaliスラムの手洗い器の設置 (ネパール)

### 現場からの声 (抜粋)

#### 実施中の様子



水と衛生に関する  
啓発活動



水と衛生に関する  
啓発活動



Maya Devi Thakuriさん  
(45歳、啓発活動の参加者)

私たちの家族は、灰と水を使って手を洗っていました。手をきれいにする最善の方法だということも教わっていましたが、それが正しくないということを知りませんでした。プロジェクトのプログラムを通じ、下痢などの病気から家族を守るための、手指衛生の注意点を学ぶことが出来ました。

#### 実施後の様子



設置した手洗い器



手洗いする住民たち



Deepa Prasaiさん  
(22歳、スラム地域の住民)

COVID-19の感染力の強さは理解していましたが、感染を予防し致死率を下げるための手洗いの正しい手順やマスクの適切な使用方法を知りませんでした。誰も水と衛生や手洗いの重要性について教えてくれませんでした。今は啓発活動で正しい水と衛生の手順を学び、地域に還元できることを嬉しく思います。